

内閣府経済社会総合研究所システム機器賃貸借、設計・構築及び運用業務調達仕様書（案）に対する意見の回答

※1 [種類] 1. 要求水準を下げよ、2. 要求水準を上げよ、3. 修正せよ、4. 確認事項、5. その他

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
1	調達仕様書（案）	5	2.5(2)	3	2.5(2) 本調達の管理対象は、次期研究所システムで導入する機器及び景気統計アプリケーションとし、SNA推計アプリケーション及びSNA統合DBは対象外とする。	以下の記述があるため、SNA統合DBの設定作業は別途設定情報の提供を受けた上、本調達の作業に含まれる認識です。その旨、明記いただけますでしょうか。  P.6表2「SNA統合DBにおけるマスタメンテナンス及びアカウント管理業務支援」 P.9(5)「受注者においてSNA統合DBサーバに対してSNA統合DBアプリケーション用環境設定作業を行うこと。」 P.17(3)③ 研究所及びSNA統合DB改修事業者と協議を行い、別途調達する「SNA統合DB改修業務（仮称）」で個別に作成されるSNA推計業務システムが稼働するために必要なプログラム等のインストール・設定作業の支援を行うこと。」	作業範囲の明確化のため。	ご認識の通りです。ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
2	調達仕様書（案）	16	4.2.5(1)①	2	① 構築に当たり、現地調査が必要な場合は、事前に研究所及びデジタル庁、情報化推進室の承認を得た上で行うこと。また、調査結果を現地調査結果報告書として取りまとめ、研究所の承認を得ること。	本調達では構築に当たり、現地調査が必須となる認識です。受注者の作業範囲を明確化するために現地調査を実施することを明記いただけますでしょうか。	作業範囲の明確化のため。	ご意見として承りましたが、現行仕様のとおりとします。
3	調達仕様書（案）	20	4.3.2	4	④人事異動・組織改編に伴う業務(ア)人事異動等に伴う端末の追加及び入替え等にあわせ、システムに必要な設定等（設置、撤去及びLAN 工事含む。）を行うこと。なお、LAN 工事については、同一フロア、同一区画内でのLAN工事を想定すること。	人事異動の頻度の実績情報があれば提供いただけますでしょうか。	人事異動に伴う対応の見積のため。	資料閲覧にて確認をお願いします。

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
4	調達仕様書（案）	21	4.4	4	遠隔地保管サービス (1) 次期研究所システムでは、データ保全の観点からバックアップデータ（LTO テープ等）を外部保管先へ移送し、遠隔地保管を行うこと。	外部保管先はどこにあたるのか教えていただけますでしょうか。また、資料に記載ある場合、明記していただけないでしょうか。	輸送費の見積のため。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
5	調達仕様書（案）	22	5.1	5	5. 成果物の範囲、納品期日等 5.1 成果物	運用作業における成果物を明記いただけますでしょうか。	作業範囲の明確化のため。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
6	調達仕様書（案）	33	10.3	4	受注実績 (1) 過去5年間で、次期研究所システムと同等規模（利用者規模100人）以上の情報システムにおける、設計・構築・保守業務のプロジェクト実施及び、管理業務を請け負った実績があること。 (2) 過去5年間で、次期研究所システムと同等規模（利用者規模100人）以上の情報システムにおける、運用・保守業務のプロジェクト実施及び管理業務を請け負った実績があること。 (3) 統計処理システムの運用・保守、改修及び管理支援実績があること。	現在、履行期間中の契約も実績に該当するのか教えていただけますでしょうか。	受注実績の範囲の把握のため。	設計・構築業務においては、構築完了していることで該当とみなします。 保守・運用業務においては1年以上の保守・運用実績があることで該当とみなします。 ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
7	要件定義書（案）	2	2	5	2. システム方式に関する事項	「2. システム方式に関する事項」にガバメントクラウドの情報、許可する接続先（行政端末からのみアクセス可能とすること等）のご要件について明記いただけますでしょうか。	全体構成を明確にするため。	次期研究所システムの設計・構築業務に必要な接続先等の情報については、契約後に研究所から提供予定です。

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
8	要件定義書（案）	2	2(7)	3	2. (7)行政端末から次期研究所システムのファイルサーバにアクセスするため、次期研究所システムとGSSを本調達で導入するファイアウォール経由で接続すること。なお、行政端末からは次期研究所システムのファイルサーバのみアクセスを可能とすること。	「行政端末から次期研究所システムのファイルサーバおよびテレワーク用ゲートウェイ機能にアクセスするため、次期研究所システムとGSSを本調達で導入するファイアウォール経由で接続すること。なお、行政端末からは次期研究所システムのファイルサーバおよびテレワーク用ゲートウェイ機能のみアクセスを可能とすること。」に修正願います。	要件の明確化のため。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
9	要件定義書（案）	4	3.1	3	表1 次期研究所システムの利用者のNo.4「運用事業者（常駐）」の人数：1名以上	運用事業者（常駐）の人数は1名以上とありますが、現地対応時の問合せ窓口、昼食時、休暇等の対応を考慮すると2名以上の体制が現実的と考えます。勤務場所として席の上限は何名まででしょうか。	現地対応時の問合せ窓口、昼食時、休暇時等の対応を考慮した体制を組むため。	ご意見として承りましたが、現行仕様のとおりにします。勤務場所については体制に応じた環境をご提供する予定です。
10	要件定義書（案）	4	4(1)	1	(1)性能について、研究所職員が実施する各業務処理のピーク時においても、現行研究所システムと同等以上の十分な処理性能を確保するための機器等を用意し、設計・構築を行うこと。	本調達から新規に接続する要件（現行の研究所システムで存在しない要件）については充分利用に耐え得る性能でよろしいでしょうか。また、想定する各業務の基準となる性能をご提示ください。	本調達から新規に接続する要件（現行の研究所システムで存在しない要件）について、比較基準がなく、要件を明確化したいため。	新規要件についてはご認識の通りです。ご意見として承りましたが、現行仕様のとおりにします。資料閲覧時にご確認いただき、次期研究所システムの要件を満たす最適な構成をご提案下さい。
11	要件定義書（案）	5	6(1)	3	(1) ハードウェア及びソフトウェアのリソースについて、契約期間である4年間を見越した拡張性を保持すること。	4年間を見越した拡張性について、コスト削減を考慮し、提案時のサーバ構成のメモリ、ディスクの空きスロットを準備することで要件を満たすと判断してよろしいでしょうか。また、CPUについては上位スペックのCPUへの入替による拡張と判断してよろしいでしょうか。ディスク容量については要件を満たす容量を見込むことで仕様充足すると考えてよろしいでしょうか。なお、実際の拡張に当たっては別途調達される認識でよろしいでしょうか。	要件の明確化のため。	ご意見として承りましたが、現行仕様のとおりにします。CPUの交換も含めて、拡張方法については、次期研究所システムの要件を満たす最適な構成をご提案下さい。また、実際の拡張に当たっては別途調達する認識です。

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
12	要件定義書 (案)	10	11.1	4	表 2 機器数及び設置場所 No1 管理系サーバ (業務系)	No1 管理系サーバ (業務系) → 業務系サーバ (仮想化) に修正ください。	誤記と考えられるため。	ご認識のとおりです。ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
13	要件定義書 (案)	11	11.2.1(3) ⑧	1	サービスの停止を伴わず、物理サーバのCPU及びメモリの負荷を自動的に分散できること。	左記要件は必須要件となりますでしょうか。製品選定にあたり、要件を削除して頂く事で安価な製品の選定が可能のため、緩和のご検討をお願い致します。	製品選択の幅を広げるため。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
14	要件定義書 (案)	11	11.2.1(3) ⑩	1	ネットワークのI/O性能を制御できること。	左記要件は必須要件となりますでしょうか。製品選定にあたり、要件を削除して頂く事で安価な製品の選定が可能のため、緩和のご検討をお願い致します。	製品選択の幅を広げるため。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
15	要件定義書 (案)	12	11.2.2(2) ~3(2)	4	11.2.2(2)① SNA推計端末からSNA統合DBサーバにアクセス (リモートデスクトップ接続含む。) できること。 11.2.3(2)リモートデスクトップ関連の記述なし	11.2.3(2)景気統計サーバにはリモートデスクトップ接続の記述がありません。p18⑩のテレワーク用ゲートウェイ機能には「SNA推計業務用と景気統計業務用の2台提供」とありますが、11.2.2(2)①SNA統合DBサーバのリモートデスクトップ接続とは違うかについてご教示ください。	リモートデスクトップ機能の適用範囲確認のため。	SNA統合DBアプリケーションはWindows Serverのリモート デスクトップ サービスの一つであるRemoteAppを利用しています。テレワーク用のリモートデスクトップとは異なる要件です。
16	要件定義書 (案)	13、19、 20	11.2.5(1) ⑥ 11.2.6(1) ⑥ 11.2.7⑤	4	11.2.5(1)⑥ 2本以上のディスクを用いてRAID1 (ミラーリング)、又はRAID1+0 (ミラーリング+ストライピング) 構成とすること。 11.2.6(1)⑥ 2本以上のディスクを用いてRAID1 (ミラーリング)、又はRAID1+0 (ミラーリング+ストライピング) 構成とすること。 11.2.7⑤ OS領域として別途10krpm以上のSASディスクを2本用いてRAID1構成とし、実効容量を300GB以上確保すること。	共通要件に各サーバにホットスペアディスクを搭載することという記載がありますが、左記要件につきましてもホットスペアディスクの搭載は必要という認識で宜しいでしょうか。  ■記載箇所 要件定義書P10 11.2.1共通要件(1)ハードウェア要件 ⑨本調達で導入する各サーバにホットスペアディスクを1本以上搭載すること。	要件の明確化のため。	全台にホットスペアディスクの搭載を想定しております。ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
17	要件定義書（案）	13、19、20	11.2.5(1)⑦ 11.2.6(1)⑦ 11.2.7⑤	1	11.2.5(1)⑦記憶領域として、実効容量を300GB以上確保すること。 11.2.6(1)⑦記憶領域として、実効容量を300GB以上確保すること。 11.2.7⑤ OS領域として別途10krpm以上のSASディスクを2本用いてRAID1構成とし、実効容量を300GB以上確保すること。	左記要件について、ハードディスクの物理容量を300GB以上確保する内容に緩和頂けないでしょうか。	コスト削減のため。	ファイルシステム作成後の実効容量ではなく、RAID構築後の実効容量を想定しております。 ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
18	要件定義書（案）	18	11.2.5(2)⑰	3	(イ) ゲートウェイ機能はSNA 推計業務用として 3 台、景気統計業務用としての 2 台用意すること。	「(イ) ゲートウェイ機能は SNA 推計業務用として 3 台、景気統計業務用としての 2 台用意すること。」 → 「(イ) リモートデスクトップ機能は SNA 推計業務用として 3 台、景気統計業務用としての 2 台用意すること。」 に修正ください。	誤記と考えられるため。	ご認識のとおりです。ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
19	要件定義書（案）	22	11.3.1(2)③	3	(2)③ アンチウイルスソフト、バックアップエージェント及び監視エージェント等のアプリケーションを導入すること。	サーバ要件と同じ記述になっておりますが、端末要件の記述に修正いただけませんか。	誤記と考えられるため。	ご認識のとおりです。ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
20	要件定義書（案）	24	11.4	1	(1) プリンタ要件 ④装着するオプションを含む外形寸法で、W640 × D700 × H560mm以内であること。	「装着するオプションを含む外形寸法で、W640 × D700 × H595mm以内であること。」に仕様緩和をお願い致します。	弊社提案製品で高さの寸法が満たせず、製品選択の幅を広げる為、左記仕様に緩和をお願い致します。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
21	要件定義書（案）	24	11.4	1	(1) プリンタ要件 ⑩給紙量は500枚以上であること。	「給紙量は495枚以上であること。」に仕様緩和をお願い致します。	弊社提案製品の標準カセットの給紙容量は、手差しカセット、標準カセットの合計が495枚となり、僅かに仕様を満たせません。製品選択の幅を広げる為、左記仕様に緩和をお願い致します。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
22	要件定義書（案）	28	11.8.2(2)②	3	現行研究所システムの電源が利用できる場合、流用を可とするが、詳細については、デジタル庁、情報化推進室と調整すること。	移行にあたり、新旧システムの併設が必要と考えるため、流用が不可である旨、明記ください。	要件の明確化のため。	ご意見として承りましたが、現行仕様のとおりとします。

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
23	要件定義書（案）	28	11.8.2(3) ①(イ)	1	サーバ室と執務室間を接続するためのLAN配線工事（光ケーブル（使用する芯数の2倍以上を用意すること。）を使用すること。）を行う。	現行光ケーブルの流用も可としていただきたい。	コスト削減のため。	運用期間中に故障等が生じた際に新規敷設を行うことと同等の保証が可能であれば、再利用しても問題ありません。 ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
24	要件定義書（案）	33	13.2.3(2)	1	(2) 次期研究所システムのLAN配線は、新規敷設を前提として現地調査及びLAN敷設作業を実施すること。	既設ケーブルを撤去し、新規敷設を行う作業は大幅なレイアウト変更が発生しない限り不要と考えます。コスト削減効果も大きいことから、既設ケーブルの使用も認めるよう、要件緩和いただけないでしょうか。	コスト削減のため。	運用期間中に故障等が生じた際に新規敷設を行うことと同等の保証が可能であれば、再利用しても問題ありません。 ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
25	要件定義書（案）	35	14.1(3)	1	(3)次期研究所システムを利用する上で必要となる操作方法等について、利用者マニュアルを作成すること。なお、利用者マニュアルは、研究所職員が理解しやすいよう、マニュアル作成等の利用者教育に関する専門部署が作成すること。	マニュアル作成にあたっては、機器構築を行った要員が作成することで、手順の品質向上が図られます。また教育に関する専門部署への情報伝達のコスト削減効果もあることから、利用者教育に関する専門部署が作成するとして要件について緩和いただけないでしょうか。その場合、「なお、マニュアルの内容については研究所と協議の上、決定すること。」を追記いただけますでしょうか。	コスト削減のため。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
26	要件定義書（案）	35	14.2.1(6)	4	SNA推計業務システム及びファイルサーバの利用方法に関して重点的に説明を行うこと。	SNA推計業務システムについての教育を実施するために、業務内容を開示頂ける認識でよろしいでしょうか。	SNA推計業務システムについての教育を実施するにあたり、業務内容が必要と考えられるため。	業務内容ではなく、システム提供機能についての説明を想定しております。 ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
27	要件定義書（案）	37	15.2	1	(4) 以下の場合については、上記(1)及び(2)の対応時間に関わらず、早急に対応すること。特に、保守業務時間外において重大なシステム障害及び異常が発生した場合、保守担当者による対応を、オンサイトにて適切に行うこと。なお、全てのオンサイト対応（保守対応時間内及び時間外）は、研究所からの障害発生通知後、2時間以内に開始すること。	「全てのオンサイト対応（保守対応時間内及び時間外）は、研究所からの障害発生通知後、4時間以内の開始を目標とすること。」に仕様緩和をお願い致します。	緊急時のオンサイト保守は、2時間以内の対応が要件ですが、これを満たす為には、保守拠点に人員配置を増やす等の特別対応が必要となります。特別対応には追加費用が発生しますので、運用に支障がないと判断頂けるのであれば、コストを削減の為に、4時間以内での駆け付け対応目標に変更頂けませんか。	ご意見を参考に、現行仕様の一部を変更いたします。
28	要件定義書（案）	41	15.10	3	15.10(2)本調達で導入する機器を撤去する際、以下の要件を満たすこと	クラウド上のデータの消去についての記載がないので記載ください。	ガバメントクラウド上のデータは消去しますが、消去証明書等は取得可能か判断できないため。	クラウド上のサーバは本調達の撤去対象外です。クラウド上の消去作業についてはデータの削除・暗号鍵の削除をもって消去とみなす想定です。ご意見として承りましたが、現行仕様のとおりとします。
29	要件定義書（案）	42	16	4	遠隔地保管 (2)テープバックアップの取得対象データ、取得周期及び保管期間等の詳細は、受注後に研究所と協議の上、決定すること。	利用開始時期について指定いただけますでしょうか。	保管庫借用費用の見積のため。	令和6年1月からの想定です。
30	要件定義書（案）	46	17.1.4	4	17.1.4(1)⑤機器の利用状況及びリソース状況（CPU使用率、空きメモリ状況、ディスク使用率・ビジー率等）	機器の利用状況として、ディスク容量、ネットワーク使用状況の他に必要なものがあればご教示ください。	ディスク容量、ネットワーク機器以外の機器の利用状況の情報確認のため。	現行システムでの報告内容相当を予定しております。資料閲覧時に確認ください。
31	要件定義書（案）	53	17.3.1	4	ヘルプデスク業務 (1)次期研究所システムに係る質問・要望等に対し、調査・回答を行うこと。	ヘルプデスクへの想定問い合わせ件数をご教示いただけますでしょうか。既存環境での実績があれば、開示いただけますでしょうか。	要件の明確化のため。	資料閲覧にて確認をお願いします。

項	ドキュメント名	ページ	項目番号	種類	仕様書記載内容	意見	意見理由	回答
32	要件定義書（案）	54	17.3.1	4	ヘルプデスク業務 (7)②景気統計システムに関しては、景気統計アプリケーションの動作に係る具体的な質問等も含め、調査・回答を行うこと。	既存での調査・回答実績を閲覧資料に含めるようご検討お願いいたします。	要件の明確化のため。	閲覧資料に含みます。
33	要件定義書（案）	56	17.3.4	4	ドキュメント維持管理業務 (6) 設計・構築に関するドキュメントを含め、次期研究所システムに係る全てのドキュメントの変更及び改訂を行い、管理すること。	既存環境で設計・構築に関するドキュメントの変更に関する回数やボリュームの実績があれば、開示いただけますでしょうか。	要件の明確化のため。	資料閲覧にて確認をお願いします。
34	要件定義書（案）	60	17.4.1	4	景気統計アプリケーションの保守 (7) アプリケーションに関する既存ドキュメントの更新を行うこと。	既存ドキュメントに不適合があった場合は、責任の範囲外ということで認識相違ないでしょうか。	責任分界点を明確にするため。	現行の保守事業者の責に帰すべき契約不適合については、責任の範囲外の認識で問題ありません。
35	要件定義書（案）	60	17.4.1	1	景気統計アプリケーションの保守 (1) 景気統計アプリケーションの保守（3回/年程度を想定）を実施すること。 (2) アプリケーション保守の改修規模は年間で0.9Kstepを想定すること。なお、上記を超える改修が必要な場合は、別途調達とする。 (8) 業務端末の環境変更対応（JREバージョンアップ等）が実施される場合、景気統計アプリケーションへの影響を確認するための動作確認を実施すること。なお、障害が発生した場合には、研究所と調整の上、速やかに対応すること。	左記の（1）で定義された保守の想定年間対応件数は3回と設定されていますが、（2）と（8）の対応を合算で3回と考えればよろしいでしょうか。 それとも（2）の対応で3回、さらにそれとは別に（8）の対応が発生すると考えればよろしいでしょうか。	要件の明確化のため。	後者の（1）、（2）の保守対応とは別に（8）の環境変更対応が発生する認識です。